

令和3（2021）年度生涯学習・社会教育関係職員研修 実施報告②

実施日：令和3年5月20日（木）

○ 講話「生涯学習や社会教育について考える」

宇都宮大学地域創生推進機構宇大アカデミー生涯学習研究開発室 教授 佐々木 英和 氏

今回の研修は、来所して大講義室で講話を視聴する形式と、Zoom を使いオンラインによって各職場から講話を視聴する形式に、実施方法を変更して行いました。

講話では、豊富な資料を基に、生涯学習や社会教育の重要性、社会教育行政の役割について、分かりやすくお話しいただきました。また、教育におけるコミュニケーションの大切さについて考える場面があるなど、受講者は先生の講話にどんどん引き込まれていきました。

受講者は大講義室と各職場という異なる環境からの参加でしたが、度々、Zoom の投票機能を活用した質疑が行われるなど、オンラインでの参加型研修を経験し、それぞれが担当している講座で Zoom を使う際に活用できる「技」も得ることができたようです。



【研修の内容についての感想】

- ・「充電すると放電したくなる」というお話には、うなずかされました。地域には、活躍したい方々がたくさんいます。活躍の場をつくり、交流の場となるようコーディネートしたいと思います。
- ・ファシリテーションをする上で、参加者とのコミュニケーション、参加者同士のコミュニケーションがポイントであるということを改めて感じました。教育は、教えることがメインだと思っていましたが、目的は育てることで、その手法として、「教えること」と「教えないこと」の効果的な組み合わせが大事だということが学べてよかったです。
- ・「生涯学習」が社会の変化が速い時代だからこそ、必要になっているということが分かりました。
- ・私自身も社会の変化についていけるよう、自発的に学ぶということを意識して過ごしたいと思います。
- ・生涯学習の意義や概念について自分なりのイメージをもつことができました。

【オンラインでの参加についての感想】

- ・通常の Zoom では知らなかった投票というやり方があるのを初めて知りました。一方通行でないコミュニケーションの方法を使えることは、今後の講座運営に役立つと思います。もっと参加者が慣れてくれば、ワークショップもできるということが分かりました。とても勉強になりました。
- ・リモートでの研修に参加したのが初めてで、受ける前は一方的に話を聞くイメージでしたが、今回の研修で、やり方次第で回答機能や他の参加者とコミュニケーションをとれることが分かり、リモートに対するイメージが変わりました。自分が主催する側になった時もぜひ活用したいと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp